

事業所における自己評価表（放課後等デイサービス事業）

社会福祉法人 黒松内つくし園
南後志児童デイサービスセンター

◇評価期間 平成 30 年 9 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日

◇公表日 平成 31 年 3 月 11 日

◇配布数 6 件、回収数 6 件、回答率 100%

*工夫している点、課題や解決すべき点については、原文のまま掲載しています。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や解決すべき点	改善すべき点を踏まえた 改善内容または改善目標
環境 ・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	0	1	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設が古く、活動スペースが限られている。 ・ 3 町村どこで療育するにも限られた空間で、できることをやっている状態。 ・ 元々、訓練室としての建物ではないので適切とは言えない。 	<p>現在、利用している建物は生活寮として建てられたため、療育としての利用には適切とは言えません。今後、黒松内町については、建物の老朽化や療育の充実を目的とし、新しい建物（新築か移転については不明）への意向を検討しています。</p> <p>寿都町、島牧村については、療育道具の移動等限られてきますが、その中で質の高い療育を目指していきます。</p>
	②	職員の配置数は適切であるか	2	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今以上に利用者が増えたり、職員の入れ替えがあったら対応できないと思う。 ・ 今年度は職員が 1 名プラスされたため、適切だと思います。 	<p>今年度より職員が 1 名加わり、4 名での体制となりました。今後も 4 名体制を維持し、より質の高い療育が行えるように努力していきます。</p>

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や解決すべき点	改善すべき点を踏まえた 改善内容または改善目標
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	0	0	6	<ul style="list-style-type: none"> 2階への階段が急で子どもたちがとても危険です。荷物を持って階段を降りるのもとても危険です。 元々、訓練室としての建物ではないので適切とは言えない。 	<p>事業所の設備やバリアフリー化等については、先に記述した通りですが、黒松内町では職員間で特に注意しているのが入り口に階段です。今後も事故がないように十分注意していきます。</p> <p>寿都町、島牧村の方へは、お便りを通してお知らせします。</p>
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	0	4	2	<ul style="list-style-type: none"> 参画できていると思う。 	<p>今年度より、職員が1名加わったことで、職員個人の負担の軽減につながったことは業務改善につながったと思います。今後も、より質の高い療育を目指すため、取り組んでいきたいと思っています。</p>
	⑤ 保護者向け評価表を活用する等により、アンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	1	0	<ul style="list-style-type: none"> アンケートの実施や保護者からの聞き取り等、コミュニケーションをとりやすいように努めてきていると思う。 	<p>評価表については、今年度より公表させていただきます。今後は、保護者の皆様からいただいたご意見と事業所からの意見を踏まえ、業務改善につなげていきます。</p> <p>また、その内容についても適時お便り等で保護者の皆様にはご連絡させていただきます。</p>
	⑥ この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	1	3	2	<ul style="list-style-type: none"> 公開していく必要性があり、公開していくべきだと思う。 	<p>今年度より、評価表の結果を社会福祉法人黒松内つくし園ホームページと南後志児童デイサービスセンターのお便りで公表させていただきます。</p>

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や解決すべき点	改善すべき点を踏まえた 改善内容または改善目標
業務 改善	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	1	4	・ 外部評価は受けていないと思う。	第三者による外部評価については、行っていません。今後、検討していきます。
	⑧	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	0	0	・ 確保している。	職員の資質向上の目的として、外部研修は最低でも職員1人に対して年1回参加しています。他にも、しりべし学園で行われる施設内研修へ月1回参加し、虐待防止などの研修を行っています。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	2	0	・ 明確なニーズを職員がとらえきれていない保護者もいる。 ・ しっかり取り組んでいると思います。	現在、南後志児童デイサービスセンターでは、決められたアセスメントツールは使用していません。しかし、それでは職員個人の主観も入ってきてしまうため、客観的な視点からアセスメントを行い、計画を立てていく目的からも、今後導入を検討していきます。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	1	2	3	・ 標準化されたものなのかわからない。	上記同様、決められたアセスメントツールはなく、お子さんの個別支援目標については、職員のアセスメントと保護者の希望を合わせて設定しています。今後は、標準化されたアセスメントツールの導入を検討していきます。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	2	4	0	・ 個人の活動はその担当に任せている。 ・ 小集団の場合は、職員間で話し合うこともあるが、十分な時間をとれず、誰かが決めることもある。	活動プログラムの立案は、基本的には各担当で行っています。しかし、他の職員へも課題の情報提供を行い、共有することで療育の質を上げることを心掛けています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	3	3	0	・ しないように工夫はしてくれていると思う。	療育道具が少ない中、職員は課題が重ならないように手作りで用意もします。お子さんが楽しく療育に参加できるように工夫をしていきます。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や解決すべき点	改善すべき点を踏まえた 改善内容または改善目標
適切な 支援の 提供	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	2	3	1	<ul style="list-style-type: none"> 長期休暇中、利用回数を増やすといったことができる良いが難しい。 	休日、祝日の療育は行っていません。支援目標に沿った支援を実践していますが、季節に応じて課題を変えたりして、季節感を感じられるような設定を行っています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス支援計画を作成しているか	4	2	0	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の年齢や特性が色々だったり、送迎の関係等もあり、小集団を組める利用者がなかなかいない。 小集団活動も定期的に行っている。 	現在、放課後等デイサービス事業の中で小集団療育を行っているお子さんはごく一部です。今後も、お子さんの年齢や特性を考え、組める場合は行っていきます。
	⑮	支援開始前には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3	3	0	<ul style="list-style-type: none"> 小集団療育の時には、打ち合わせがあるが、個別療育の時には各担当職員に任せている。 	各担当の療育開始時間が異なるため、全員揃うことがあまりないのが現状です。その中で、職員間でのコミュニケーションはとれていますが、全員が情報を共有できるように、伝達方法を考えていきます。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか	2	4	0	<ul style="list-style-type: none"> 支援が正しかったかどうかは、必ずではないが、先輩たちに相談している。 	上記同様、各担当の療育終了時間も異なります。場合によっては就業時間以降にも対応することもあるため、決まった時間での打ち合わせは設けていませんが、空いている時間を見つけて職員間で情報を共有しています。
	⑰	日々の支援に関して、正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	2	0	<ul style="list-style-type: none"> 記録は丁寧に記入してくれている。 	記録に関しては、正しく、第三者が見てもわかりやすく残すことを心掛けています。記録は、お子さんごとにまとめており、支援の検証や改善をする時にも利用しています。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や解決すべき点	改善すべき点を踏まえた 改善内容または改善目標
適切な支援の提供	⑱	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	3	3	0		南後志相談支援センターを利用されている方が多く、モニタリングの際に、児童デイの職員も参加させてもらっています。その計画をもとに、南後志児童デイサービスセンターの支援計画にも反映しています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	2	4	0	・ ガイドラインを良く把握できていない。	事業所内から、ガイドラインを良く把握できていないという意見があり、再度職員は確認をしています。しかし、ガイドラインが当事業所と完全に合致するものではなく、合う部分を選び取り組んでいきたいと思えます。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談事業所サービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	1	0		療育やカンファレンス等が入り、担当者が参加できないこともあります。できる限り担当者が参加できるように調整をしています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4	1	1		各学校との情報共有や連絡調整について、不十分なところはあると思います。事前に確認がとれないことや急な変更については、電話で確認をとるようにしています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	4	0	・ 今のところ医療的ケアが必要な子はいないが、必要があれば連絡をして情報をもたうことはできると思う。	現在、医療的ケアを必要とするお子さんの利用はありません。南後志児童デイサービスセンターの設備を考えると、受け入れができるかどうか主治医との相談が必要だと思います。また、受け入れが可能な場合も、細目に情報交換をしていかなければいけないと考えています。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や解決すべき点	改善すべき点を踏まえた 改善内容または改善目標
関係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	⑳	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園等との会議を開いている。 ・ 特別支援会議等に参加し、保育園や他の関係機関とも情報共有はされている。 	就学に当たっては、関係機関との会議を行い、就学後も定期的にカンファレンスを行っています。
	㉑	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業から障害福祉サービス等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要に応じて情報提供を行っている。 	放課後等デイサービスは、就学されているお子さんなら20歳まで利用できます。高校を卒業されるまで利用されるケースは少ないですが、必要に応じて関係機関へは情報提供を行っています。
	㉒	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	1	1		道立支援、専門支援事業で、専門職のスタッフから南後志児童デイサービスセンターの職員へのアドバイスを受けています。他の事業所との連携や交流は少ないと思われ、今後は色々な機関とのつながりを作っていきたいと思います。
	㉓	放課後児童クラブ、児童館との交流があるか	1	3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童クラブや児童館の先生との会議も開くべきだと感じる。 ・ 交流の場は持っていないが、利用者が児童館等を利用していれば、その職員との情報交換はされている。 	南後志児童デイサービスセンターのお子さんと児童館等のお子さんとの交流の機会はとっていません。お子さんの中には、児童館等を利用されている方もいて、引継ぎ等で情報交換の場はありますが、今後は定期的に情報交換ができる会議等も検討していきたいと考えています。
	㉔	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4	2	0		いくつかの協議会への参加はありますが、現場レベルでの協議はできていないように感じます。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や解決すべき点	改善すべき点を踏まえた 改善内容または改善目標
関係 機関 や保 護者 との 連携	⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	2	0	<ul style="list-style-type: none"> 保護者によって密に連絡をとれている人とそうでない人がいることは課題である。 	保護者の方との連絡の取り方は、そのご家庭によって様々です。直接連絡が難しい方は、ノートやメールを使い場合もあります。お忙しいご家庭が多いので、細かく伝えられていないこともあるかと思えます。今後は、療育の様子を写真に撮り見ていただく等、密に連絡が取れるように検討していきます。
	㉑	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	3	1	2	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の対応はとても難しい。信頼関係ができるまで、時間をかけていく必要性を感じる。 アンガーマネジメントの研修。 保護者向けの研修会を実施している。 	南後志児童デイサービスセンターでは、保護者の方向けのアンガーマネジメント等の研修を行ってきました。しかし、保護者の皆さんから希望を伺ったテーマではなかったため、今後は皆さんが希望される研修をテーマにしていけたらと考えています。
保 護者 へ の 説 明 責 任 等	㉒	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	1	0		利用開始時や毎年年度初めに説明をさせていただいています。継続して利用される方については、説明を省略してしまうこともあり、今後は丁寧な説明を行っていきます。
	㉓	保護者の子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	2	0	<ul style="list-style-type: none"> 会うことの少ない保護者もあり、保護者との面会に差が出てしまうことが課題と感じる。もう少し密に関係を築く必要がある保護者もいる。 	お忙しいご家庭が多い中で、直接お会いしてお話ができる保護者の方も少ないのが現状です。連絡ノートやメール等でも良いので、何かありましたらお気軽にご相談ください。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や解決すべき点	改善すべき点を踏まえた 改善内容または改善目標
保護者への説明責任等	③②	父母会の活動を支援したり、保護者会等を開催することにより、保護者同士の連携を支援しているか	2	3	1	<ul style="list-style-type: none"> レクを通じて、保護者が集まる機会を設けているが、来る人が決まっている。 行事でなるべく親同士の交流が図れるように内容の設定はしている。でも不十分と感じる。 	南後志児童デイサービスセンターでの保護者会はありませんが、行事等を通して、お子さん、保護者の方の交流の機会を設けています。ご都合が合わなく、参加されるご家族は限られていますが、今後も少しでも多くの方々が参加できるようにご案内や調整をしています。
	③③	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	2	0		<p>苦情については、受け付けた場合に迅速かつ適切に対応できるように、体勢を整備しています。</p> <p>また、保護者の方から苦情受付担当者がしりべし学園の職員になっていることに疑問がある話も聞かれたため、今後南後志児童デイサービスセンターとしての担当者の設置も検討していきたいと思えます。</p>
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	1	0	<ul style="list-style-type: none"> 毎月のお便りを出したり、療育内容を直接伝えられない時には、連絡ノートやメール等で伝えている。 	お便りを通して、活動内容や行事の案内等を連絡しています。
	③⑤	個人情報の取扱いに十分注意しているか	2	2	2		個人情報については、今後も十分注意して取り扱います。
	③⑥	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 連絡ノートの活用。必要に応じて、手紙を書くこともある。 	直接会って引継ぎができない保護者の方については、連絡ノートやメールなどを使い、活動内容を伝えるようにしています。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や解決すべき点	改善すべき点を踏まえた 改善内容または改善目標
	③⑦ 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか	2	2	2	<ul style="list-style-type: none"> 分校にはボランティアを要請するが、地域住民に入ってもらえることはない。 デイサービスの行事として招待等はわからないが、地域に開かれた運営はしている。 	南後志児童デイサービスセンターの行事の際には、地域住民の方を招待することは行っていないが、社会福祉協議会を通してボランティア要請を行っています
非常時の対応	③⑧ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	1	2	3	<ul style="list-style-type: none"> 職員には伝えているが、保護者には周知していない。 児童デイでもマニュアルを作成する必要がある。 	南後志児童デイサービスセンター独自のマニュアルはなく、しりべし学園本体のマニュアルを活用しています。しかし、しりべし学園本体とは事業が異なる面が多いため、南後志児童デイサービスセンター独自のマニュアル作成を検討していきます。
	③⑨ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他の必要な訓練を行っているか	3	0	3	<ul style="list-style-type: none"> 火災訓練が急に行われるため、本番を想定できるが、出火場所等ははっきりわからない。 本園に合わせて態勢は整えている。 	しりべし学園本体と一緒に火災、地震を想定した訓練を行っています。南後志児童デイサービスセンターとしても、お子さんが利用されている時の訓練等も検討していきます。また、今回の北海道東部地震を教訓に、できることへの対応を進めていきます。
	④⑩ 虐待を防止するため、職員の研修会を確保する等、適切な対応をしているか	3	3	0	<ul style="list-style-type: none"> 研修はしているが、適切な対応と聞いたら何が適切と判断するのか？（適切と思っただけで対応している） 	施設内研修で、年1回は必ず研修を受けるようにしています。また、外部研修へも機会があれば参加します。
	④⑪ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で児童発達支援計画にきさいしているか	2	3	1	<ul style="list-style-type: none"> 今のところ、身体拘束が必要になる利用者はいないが、万が一そういった対応が必要となっても設備的に難しいと思う。 	現在、身体拘束が必要となる場面はなく、今後行う機会はないと考えています。もし、仮に行わざるを得ない場合は、事前に保護者の方と十分に協議をしたうえで、一連の過程を踏み実施します。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や解決すべき点	改善すべき点を踏まえた 改善内容または改善目標
非常時の 対応	⑫	食べ物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	1	1	4	<ul style="list-style-type: none"> 現在、担当している利用者にはアレルギーのある子はいないが、調理の時間を設けた時には、本人や家族に聞くこともある。 保護者から伝えられ、配慮することもある。これからもアレルギーの有無は確認していく。 	アレルギーに関しては、現在利用されているお子さんでも食べられない物があったりします。医師の診断書がある方はもちろんですが、ご自宅で気を付けている食べ物等、再度確認する機会を設けたいと思います。
	⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	2	1	3		南後志児童デイサービスセンターでは、ヒヤリハットの活用が十分ではないため、今後整備して情報共有できるようにしていきます。